

交通政策審議会航空分科会羽田発着枠配分基準検討小委員会について

1. 趣旨

東京国際空港（羽田空港）の発着枠については、混雑空港の使用許可の期限到来の機会を捉え、各航空会社による発着枠の使用状況等を適切に評価し、その結果を次の使用許可に厳格に反映することとしている。

羽田空港については、令和7年1月に混雑空港の使用許可期限が到来するため、今般、交通政策審議会航空分科会に「羽田発着枠配分基準検討小委員会」を設置し、これまでの発着枠の使用状況等を確認するとともに、その配分に関する考え方について検討を行うこととする。

2. 委員構成

委員長	竹内 健蔵	東京女子大学 現代教養学部国際社会学科 教授
委員	安藤 和代	千葉商科大学 サービス創造学部 教授
	大橋 弘	東京大学大学院経済学研究科 教授
	加藤 一誠	慶應義塾大学 商学部 教授
	花岡 伸也	東京工業大学 環境・社会理工学院 融合理工学系 教授
	樋口 容子	(公社)日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会 副会長
	矢ヶ崎紀子	東京女子大学 現代教養学部 国際社会学科 教授

3. 主な検討事項

- (1) 各航空会社の発着枠の使用状況や取組みの確認
- (2) 新型コロナウイルス感染症の影響
- (3) 発着枠の配分に関する考え方
- (4) 羽田発着枠政策コンテスト等の取扱い
- (5) その他

4. 今後のスケジュール

- 第1回（令和6年3月14日） 羽田発着枠の現状について
第2回（令和6年4月16日） 各航空会社からのヒアリング
以降、順次開催し、令和6年の夏頃までにとりまとめを予定する。

5. その他

小委員会の会議は公開とする。また、会議資料及び議事要旨については、後日、国土交通省ホームページに掲載して公開する。